

機構ヲ改変シ十三支部ヲ七調査所ニ縮小シ改組致シマスト共ニ取引ノ斡旋事務ハ全部廢止致シマシテ現在デハ専ラ交易ノ公益部門ヲ擔當シ朝鮮ニ於ケル唯一ノ滿支經濟調査機關トシテ關係各機關ト密接ナル連絡ノ下交易業者ノ利便ニ資スル事トナリマシタ殊ニ朝鮮東亞貿易株式會社ガ爲シテ居リマス交易價格調整上必要ナル現地物價ノ調査連絡ニヨリマシテ交易調整ノ圓滑ナル運営ニ協力スルコトナリマシタ毎半國庫補助金交付狀況、昭和十七年度收支豫算及決算並ニ昭和十八年度國庫補助條件ヲ示セハ次ノ通アリマス

朝鮮貿易協會國庫補助交付額

昭和八年度	二〇〇,〇〇〇	昭和十四年度	一一二,三五〇
同 九年度	二〇〇,〇〇〇	同 十五年度	一一二,三五〇
同 十年度	二〇〇,〇〇〇	同 十六年度	一〇三,一一五
同 十一年度	二〇〇,〇〇〇	同 十七年度	一〇六,七三二
同 十二年度	一一四,〇〇〇	同 十八年度	一〇六,七三二
年度	交付額	年度	交付額

昭和十七年度收支豫算決算

種別	豫算額	決算額	豫算ニ對スル増減	剩餘金
收入	一六六,九四三.〇〇	一六〇,二七九.四一	△六,六六二.四一	九,五四三.四一
支出	一六六,九四二.〇〇	一五〇,七三六.〇三	△一六,二〇五.九七	(翌年度へ繰越)

昭和十八年度國庫補助條件

19

一本補助金ハ朝鮮物産ノ紹介宣傳其ノ他販路ノ擴張並ニ海外ニ於ケル經濟調査ニ要スル經費ニ充當スベシ

二毎月事業狀況報告書ヲ作成シ翌月十日迄ニ提出スベシ

三收支決算書、事業報告書及會員名簿ハ事業年度終了後一月以内ニ提出スベシ

四經費ノ收支豫算、事業計画及諸規程ノ制定、改廢ハ豫メ承認ヲ受ケベシ

五借入金(一時借入金ヲ除ク)ヲ爲サントスルトキハ金額、條件及事由ヲ具シ豫メ承認ヲ受ケベシ

六解散又ハ定款ノ変更ヲ爲サントスルトキハ豫メ承認ヲ受ケベシ

七會長、副會長、專務理事及常務理事ノ選任又ハ解

任ハ豫メ承認ヲ受ケベシ

ハ鮮外調査所長ノ任免及轉勤ハ豫メ承認ヲ承ケベシ

九必妥下認ムルトキハ何時ニテモ事業及財産ノ狀況ヲ報告シ

セシメ又ハ隨時職員ヲ派遣シ書類帳簿財産其ノ他

一切ノ物件ヲ検査セシムル事アルベシ

十必要ト認ムルトキハ收支ノ經理及財産ノ管理ニ関スル方法

並ニ本府囑託ヲ兼ナル役員ノ任免又ハ轉勤ニ付指示

スルコトアルベシ

十一必要ト認ムルトキハ更ニ命令事項ヲ追加シ又ハ之ヲ変更

更ナルコトアルベシ

十二前各條ノ命令事項ニ違反シ又ハ第九條ノ検査ヲ拒ミ

若ハ不實ノ報告ヲ爲シタルトキハ補助金ノ全部又ハ一部

ヲ返納セシムルコトアルベシ

朝鮮貿易協會本部並ニ調査所所在地

本部

京城府中區長谷川町二一

調査所

大連調査所

大連市若狹町三〇ノ二

奉天

奉天市浪速通三二

新京

新京市入船町二丁目三一

北京調査所 北京市北池子五二

天津 " 天津日本租界榮町二東華産業會社内

青島 " 青島市館陶路八朝鮮銀行支店內

上海 " 上海廣東路二〇號東亞海運ビル内

昭和十六年五月廢止マレタル支部名

釜山支部 清津支部 新義州支部

安東支部 哈爾濱支部

5 朝鮮輸出工藝協會

商務課

本協會ハ朝鮮ニ於ケル輸出向工藝産業ノ育成獎勵ヲ圖ル目的ヲ以テ昭和十四年一月朝鮮總督府並ニ各道後援ノ下ニ朝鮮内地ノ有力ナル實業家ノ發起ニ依リ設立セラレマシタ任意団体デアリマシタガ其ノ當時時局ノ推移ト共ニ輸出貿易ニ依ツテ外貨獲得ヲ圖ルハ我國國際收支ノ改善ニ寄與スルハカリヲナク朝鮮産業經濟ノ發展促進上緊要ナル見地ヨリ更ニ昭和十五年六月其ノ基礎ヲ鞏固ニシ益々機能ノ發揮ヲ圖ル為社団法人ニ改組シマシテ事務所ヲ京城ニ置キ輸出

22

向工藝品ノ調査研究並ニ技術的指導獎勵ヲ為ス外海外各地ニ於ケル工藝品展覽會ニ出陳シ或ハ各國商社ニ見本頒布ヲ為ス等朝鮮内工藝ノ育成、紹介、宣傳並ニ販路ノ開拓ニ努メマシタ結果朝鮮産工藝品ノ聲價著シク擧リ設立後日尚淺キニ拘ラズ豫期以上ノ成果ヲ收メタノデアリマスが大東亞戰爭勃發以來我國ノ貿易ハ共榮圈内相互ノ交易以外ハ全ク望ミ難ク一方戦局ハ愈々凄愴苛烈ノ度ヲ加ヘ國家ノ總力ヲ擧ゲテ戦争目的完遂ニ邁進セナケレバナリマセヌノデ斯カル情勢下ニ於ケル朝鮮ノ工藝部門ニ於キマシテ舊套墨守

ノ工藝思想ヲ脱却シ共榮圈内各地ニ對シ純日本の戰時下工藝文化ヲ認識セシメ且時局下國民生活ニ潤ヲ與ヘ得ル方面ニ轉向致シマスト共ニ我國古有工藝並ニ傳統技術ノ保存ヲ圖ル一方金屬類回收ニ對スル代替品ノ製作、研究ニ銳意ヲ力中デアリマス

昭和十五年度以降相當ノ國庫補助金ヲ交付シ本協會ノ事業ヲ助成シテ居リマス

昭和十五年度以降國庫補助金交付額、昭和十七年度收支決算及決算並ニ昭和十八年度國庫補助條件ヲ示セバ次ノ通り

アリマス

朝鮮輸出工藝協會國庫補助金交付額

年 度	交 付 額	備 考
昭和十五年度	一〇、〇〇〇円	
同十六年度	八、六〇〇	
同十七年度	九、五〇〇	
同十八年度	九、五〇〇	

昭和十七年度朝鮮輸出工藝協會收支決算及決算

種 別	概 算 額	決 算 額	増減	利 餘 金
收入	六〇、〇〇〇.〇〇	四七、九一七.〇〇	△一、〇八三.〇〇	一六、〇三三.三五
支出	六〇、〇〇〇.〇〇	四六、三三三.六五	△一、六六六.三五	(翌年度へ繰越)

昭和十八年度國庫補助條件

- 一 本補助金ハ朝鮮輸出向工藝品ノ調査研究並ニ指導獎勵其ノ他輸出指導ニ要スル經費ニ充當スベシ
- 二 毎月事業狀況報告書ヲ作成シ翌月十日迄ニ提出スベシ
- 三 借入金(一時借入金ヲ除ク)ヲ為サントスルトキハ金額條件及事由ヲ具シ豫メ承認ヲ受クベシ
- 四 收支豫算及事業計画ヲ變更セントスルトキハ豫メ承認ヲ受クベシ
- 五 收支決算書、事業報告書及會員名簿ハ事業年度經過後一月以内ニ提出スベシ
- 六 解散又ハ定款ノ變更ヲ為サントスルトキハ豫メ承認ヲ受クベシ
- 七 必要ト認ムルトキハ何時ニテモ事業及財産ノ狀況ヲ報告セシメ又ハ隨時職員ヲ派遣シ書類、帳簿、財産其ノ他一切ノ物件ヲ検査スルコトアルベシ
- 八 必要ト認ムルトキハ收支ノ経理及財産ノ管理ニ關スル方法ニ付指示スルコトアルベシ
- 九 必要ト認ムルトキハ更ニ命令事項ヲ追加シ又ハ之ヲ變更

大前各號ノ命令事項ニ違反シ又ハ第七號ノ検査ヲ拒ミ
 不實ノ報告ヲ為シタルトキハ補助金ノ全部又ハ一部ヲ
 没セシムルコトアルベシ



見本市参加費

海外貿易ヲ促進スルコトハ國內産業ノ進展ト相俟ツ
 テ國力ノ増進上極メテ緊要デアリマスノテ戰前各
 國齊クソノ促進ニ努力シテ參ツタノデアリマシテ
 我朝鮮ニ於キマシテモ地理的ニ極メテ密接ナル關係
 ニアル大陸トノ貿易ヲ促進シ朝鮮内ノ産業ヲ發展セ
 シムルト共ニ新興福開ノ發展ニ協カスル爲朝鮮總
 督森自ラ主權者トナリマシテ朝鮮内ノ主要貿易商社
 ヲ引率シ昭和十三年以來毎年數回滿洲北支中支等ニ
 於ケル商業經濟ノ樞要地ニ貿易經濟懇談會址ニ朝鮮
 物産見本市ヲ開催シ現地側ニ於ケル官民ト隔意ナキ
 懇談ヲ遂ゲルト共ニ朝鮮物産ノ紹介宣傳ヲ爲シ大イ
 ニ彼我ノ通商貿易ノ促進經濟提携及産業文化ノ交流
 ニ貢獻シテ參ツタノデアリマスガ支那事變ノ長期化
 第二次歐洲大戰續イテ大東亞戰爭ノ勃發ニ伴ヒ従来
 ノ如キ貿易觀念ハ一大変革ヲ興シ漸次統制交易ヘト
 移行シ遂ニ交易ノ高段ニ計画化サレテ參リマシタノ
 下従来ノ如キ貿易促進ノ施設ケマシタ措置モ更ニ轉

換ノ必要ニ迫ラレマシタノデ現在デハ計画交易ノ圖
 審ナル運営ニ參與スル爲相互ノ統制機構ヲ認識或ハ
 計画交流物資ノ相互供出等ニ関スル隔意ナク意見ノ
 交換并異ラ交易經濟懇談會ニ主カラ注イテ居リマス
 又昭和十六年度ヨリ本經費ノ一部ヲ割キ佛印總督府
 主催見本市博覽會ニ出品參加シ大東亞共榮圈確立
 ノ見地ヨリ日佛印相互ノ親善提携交易増進ニ參與シ
 ツ、アリマス



ア商工業組合補助

商業組合及工業組合ハ組合員ノ取扱
 商賣又ハ原材料ノ配給割当販賣價格
 販賣方法ノ協定等ニ関スル統制其ノ
 他ノ事業ヲ行フモノニシテ之カ事務
 ヲ執掌スベキ理事ハ公平無私誠實ニ
 其ノ職務ニ当ルベキハ勿論一般經濟
 界ノ事情ニ精通シ業界ノ現状並ニ特
 殊ニ權ハ通達ナル計畫ヲ樹テ之カ遂
 行ヲ期シ得ル者ヲラガルバカラザル
 處優秀ナル理事ヲ得ルニハ相当ノ高

給ヲ支給ハザルバカラザルモノナル
 二設立当初ニ於テハ組合ノ財政未ダ
 充分ナラザル為其ノ負担ニ堪ヘ難キ
 二付設立初年度ヨリ三箇年ニ限り之
 二給料ノ全部又ハ一部ノ補助ヲ為シ
 ツ、丁リ
 而シテ商工業組合ノ設立普及ニ伴ヒ
 之カ運営及統制事業等ニ付スル指導
 並ニ經理ニ関スル監査ヲ徹底ヲ期ス
 ル、要テハ度獨リ官ノ力ノミニテハ
 天、十全ヲ期シ難キ実情ナルニ鑑ミ
 昭和十四年十月ニ朝鮮工業組合中央
 會、昭和十七年三月ニ朝鮮商業組合

中央會ヲ設立セシメ本府ノ方針ニ順
應シ自治的ニ商工業組合ノ指導及監
査ヲ行ハシムルニトシ其ノ經費ノ
一割トシテ各一〇〇〇円ノ補助ヲ為シツ
ツアリ

尚時局下中小商工業対策ヲ全面的ニ
實施スルニハ業界ノ組織化ヲ急遽セ
シムルノ要アル處ニ因シテハ元ヨ
リ商工業組合ノ設立普及ヲ回ラシム
ルベキモノナルモ經營ノ規模資本力
等ニ依リ法的組合ヲ組織スルコト困
難ナルモノニ付テハ任意組合組織ニ

テ対策ノ外ナキヲ以テ之等業者ニ関
シテハ任意組合ヲ組織セシムルコト
トシ之ニ對シ理事給ノ補助ヲ為シツ
ツアリ

本補助ノ實施状況左ノ如シ

区分	昭和十四年				昭和十五年				昭和十六年				昭和十七年			
	組合数	補助額	組合数	補助額	組合数	補助額	組合数	補助額	組合数	補助額	組合数	補助額	組合数	補助額		
商業組合																
工業組合	三〇	四六五	五四	八〇五	六九	三〇二〇	二一	八三〇	二五	五二〇	二五	五二〇	二五	五二〇		
商業任意組合																
工業任意組合																
商業任意組合																
工業任意組合																
商業任意組合																
工業任意組合																

本補助ノ實施状況左ノ如シ

朝鮮	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000
支那	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000
暹羅	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000
その他	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000	1000000
合計	4000000	4000000	4000000	4000000	4000000	4000000

商工補助ノ實施状況左ノ如シ
 一、商工補助ノ實施状況左ノ如シ
 二、商工補助ノ實施状況左ノ如シ
 三、商工補助ノ實施状況左ノ如シ
 四、商工補助ノ實施状況左ノ如シ
 五、商工補助ノ實施状況左ノ如シ
 六、商工補助ノ實施状況左ノ如シ
 七、商工補助ノ實施状況左ノ如シ
 八、商工補助ノ實施状況左ノ如シ
 九、商工補助ノ實施状況左ノ如シ
 十、商工補助ノ實施状況左ノ如シ

9. 工業補助 商務課

工業補助ハ過去ニ於テハ主トシテ家内
 本補助ハ過去ニ於テハ主トシテ家内
 工業的中小工業ノ改良發達ヲ圖ル為
 実施シテ来タルニ昭和三十二年以降ハ
 主トシテ軍用ニ充テシテ設備費及工
 業組合ノ共同設備費ニ對シテ實施シ
 フテ今後ニ於テ軍需充足工業
 ハ益々其ノ設備ノ改善擴充ヲ為サレ
 ヲ生産力ノ増強ヲ圖ルニ公ルノ要ア
 ルノミテ工業組合ノ強化施設ノ一
 半島中小工業組織化ノ強化施設ノ一
 部トシテ一層共助成ヲ為スノ要ア
 ルニ鑑ミテ胎和十八年度以降ニ於テ
 之等設備費ニ對シ補助ヲ為スベク所
 要豫算ヲ計上セリ

最近五年間ノ本補助實施狀況ヲ示セ
 右ノ如シ

計	其 他	工業組合共同設備	軍需充てん費	昭和三年度	四年度昭和五	昭和六年度	昭和七年度
六七〇〇〇	四〇〇〇〇		二〇〇〇〇				
六七〇〇〇	四一〇〇〇	二六〇〇〇					
六〇三〇〇	二六〇〇〇	三四三〇〇					
六〇三〇〇	二九七五〇	三〇五五〇					
六三六五〇	六〇〇〇	五三六五〇	四〇〇〇				

商務課

10. 中小工業轉業施設費補助
 時局以來各種ノ統制強化セラレ中小工業者ノ受クル打
 撃ハ深刻ナルモノアルニ鑑ミ昭和十三年度ニ八五〇、〇〇〇
 円、昭和十四年度以降ハ毎年度三〇〇、〇〇〇円ノ豫算
 ナリト主トシテ中小工業者ノ維持及軍需品、代用品工
 業等ヘノ轉換ニ要スル設備費並ニ見本品製作費ニ
 對シ補助ヲ為シ業者ノ打撃ヲ緩和セシムルコトニ努メ來
 タリ
 本補助ノ實施状況左ノ如シ

区	昭和十三年度	昭和十四年度	昭和十五年	昭和十六年度	昭和十七年度
軍需工業(轉換)	五〇、〇〇〇	二二、〇〇〇	八二、八〇〇	一〇七、五〇〇	八〇、〇〇〇
代用品工業(轉換)		七九、八〇〇	七五、〇〇〇	二二、四一〇	

	輸出工業(轉換)	設備改善(維持其他)	見本品製作	計
				五〇、〇〇〇
				三〇〇、〇〇〇
		一六、六〇〇	六、七〇〇	二九四、〇〇〇
			二四、五〇〇	三〇〇、〇〇〇
				三〇〇、〇〇〇

中小商工業の金融通入認額

昭和十八年十月三十一日現在(昭和十八年度)

商務課

金融機関名	自己資金		外部資金		計
	件数	金額	件数	金額	
殖産銀行	七	一九六,〇〇〇			七
商業銀行	一六	三三〇,〇〇〇			一六
朝鮮興業銀行	九	六六三,二〇〇			九
朝鮮商工銀行			七	二八〇,〇〇〇	七
金融組合			四二七	八八四,四〇〇	四二七
合計	一三	一八九二,〇〇〇	四三三	一,一六四,四〇〇	四四六
制度実施以来累計	九五八	八七〇,六三三	三〇七	六,一八二,七九〇	四〇二
					二八
					一四八

中小商工業資金融通手続額金額別

昭和十八年十月三十一日現在（昭和十八年度）

金額別	自己資金		預金部資金		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
一十圓以下	四	三八〇〇	二一〇	一九八、三〇〇	二一四	二〇二、一〇〇
二十圓以下	七	一、二八〇〇	一五三	二九二、八〇〇	一六〇	三〇五、六〇〇
三十圓以下	一〇	二九、三〇〇	七	二〇、〇〇〇	一七	四九、三〇〇
六十圓以下	四〇	一、六一、〇〇〇	三二	一五三、九〇〇	七二	三〇四、九〇〇
一萬圓以下	一五	一、一六、七〇〇	三二	二四七、四〇〇	四七	三六四、一〇〇
二萬圓以下	三二	五、五、六〇〇			三二	五、五、六〇〇
三萬圓以上	五	二、七、九〇〇			五	二、七、九〇〇
合計	一一三	一、八、九、二〇〇	四三四	九、一、二、四〇〇	五四七	一一〇、一、六〇〇

中小商工業資金融通承認額
 商業之部 昭和十八年十月三十一日現在(昭和十八年度)

業種	件数	金額	業種	件数	金額
米穀穀類商	八	一六三〇〇	送素	三	三〇〇〇
呉服織物商	五〇	一、二一三、〇〇	金物商	五	六五〇〇
材木商	七	三五〇〇〇	酒清水業商	七	一六九〇〇
食料品雜貨商	四七	一、〇八二、〇〇	旅館業	一二	六〇〇〇〇
洋品雜貨商	二九	九四〇〇〇	電氣器具商	三	六八〇〇
洋服商	二七	八一二、〇〇	農機具商	二	二二〇〇〇
自轉車草商	四	二七〇〇	二不建築請員業	一五	八六八〇〇
藥種商	三三	六五四〇〇	履物商	六	二八五〇〇
鑛石商			魚介藻類商	三三	五五五〇〇

業種	件数	金額	業種	件数	金額
紙物商	一一	六四八、〇〇	陶器硝子類商	一三	三四〇〇〇
靴物商		五、〇〇〇	炭	一六	七一五〇〇
古物商		九、〇〇〇	竹	二	四〇〇〇〇
時計金計器類商	二	一〇、〇〇〇	草商		
塗料染劑商	二	三、〇〇〇	文房具文具類商	九	二二五〇〇
飲料商	三	四、〇〇〇	鳥獸肉類商	一	二〇〇〇〇
其他商	六三	三三三、〇〇	小計	四二二	三、七五九、〇〇

製	織	紙	印	製	製	製	鉄	製	業	工業之部
業	物	工	刷	玉	菓	粉	工	麵	種	
業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	
	八	二	一三		七	一	一	三	件数	
	四一五〇〇	四五〇〇	四五九〇〇		二六五〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	八〇〇〇	金額	
	總計	小計	其 他 業	瓦 製 業	建 具 業	釀 造 業	酒 造 業	精 米 業	油 脂 業	業種
	五四一	一二五	五二	五	一	一五	六		件数	
	二一六〇〇	二五七〇〇	三〇七五〇〇	一九五〇〇	八三〇〇〇	二八三〇〇	五九〇〇〇		金額	

